



昭和19年4月20日 兵庫県立医学専門学校一回生入学記念145名入学



神緑会館(手前平屋建て)と事務棟・附属病院外来棟全景(左奥に旧第一病棟を望む)
平成13年11月



明治2年に開院した神戸病院。手前の建物番屋前の左再山(再度山)道の道標(矢印▲)は現在も残っている。



入口へ見通す神緑会館通路

目次	ページ
平成30年度一般社団法人神緑会総会開催報告	3
会長あいさつ	3
物故者紹介	5
報告事項 各委員会報告	5
審議事項	5
新任教授・栄誉者紹介	6
受賞者コメント	7
新春学術講演会	
講演Ⅰ 消化器内科学分野教授 児玉 裕三	10
講演Ⅱ 生体構造解剖学分野教授 仁田 亮	10
講演Ⅲ *塚本 修一	11
情報交換会	13
平成31年度神戸大学白衣授与式	13
感想 *大江 晃央	14
神戸大学医学部章(ロゴマーク)の説明	15
幻の卒業式の開催の実施に向けて(S44.46年卒者へ)	15

目次	ページ
将来計画完成予想図(病院、医学科)	16
京都大学 iPS 研究所 (CiRA) 便り	17
株式会社クレディセゾンとの連携協定を締結しました	19
寄付のお願い さらに「誇り」を 千原 和夫 持てる大学にするために 学年別寄付者リスト	20
ラグビーワールドカップ2019™ 日本大会 神戸で4試合開催	22
2018年度大倉山祭開催報告 *大野 聖真	24
「大倉山祭医療シンポジウム」を *松倉裕理華 開催しました	26
神戸大学医学部 USMLE 勉強会 年次報告	27
医学研究科長選考広報 医学部長選考広報	29
役員選挙実施について	30
附属病院外来診療棟展示スペースの利用の応募について	30
編集後記	30
	*学生

神戸大学医学部の皆様へ

“安心なお見合い”をするなら
イーガーマリッジへ

親婚活

全国11万人以上の公的証明書提出済の一般会社員・公務員・医師・歯科医師・弁護士・公認会計士・エグゼクティブ・高学歴・高収入の方など、幅広い方が在籍しております。お子様の幸せ、ご家族皆様の幸せの為に、理想の結婚をサポートさせて頂きます。



会員数**11万人**なので、素敵な方にきっと出逢えます!

《婚活方法には…》

♥エグゼクティブパーティー ♥プロフィールでのご紹介 ♥お釣書での個人紹介など

さまざまな幅広い婚活方法をご用意しておりますので、お子様に合った方法で婚活ができます。

写真非公開で活動も可能 / 一般女性の方もご入会可能 / 有資格者のご紹介も可能



イーガーマリッジでは、個人情報の保護を徹底! 安心して婚活いただけます。

経済産業大臣認定個人情報保護団体の結婚相談業サポート協会会員『MCSA (マクサ)』に加盟し、個人情報の保護の強化に努めておりますので安心して婚活ができます。

毎月限定20名様

**90日間 結婚相談所
無料体験プラン
実施中!**

《90日間 結婚相談所無料体験プランの流れ》

- ① まずは下記フリーダイヤルか弊社ホームページにてお問い合わせください。
- ② 一度ご来社いただき、プロフィール用紙の作成を致します。
- ③ 店内スタッフによる撮影・画像修正が含まれております。
- ④ 全国約11万人が登録する中から、お子様に合った方をお探します。
- ⑤ 実際にどのような方からお見合いのお申し込みをいただいているかを確認しながら慎重に選びます。
- ⑥ 素敵な方がいましたら、正会員へご登録いただきますと弊社よりお見合い券を3枚進呈致します。
- ⑦ お見合いパーティーが1回無料になりますので、たくさんの方と出逢って理想の方と一緒に見つけましょう。



まずは下記フリーダイヤルまたは公式ホームページよりお気軽にお問合せください

イーガーマリッジで一生ものの結婚を

株式会社イーガ イーガーマリッジ

〒560-0023 豊中市岡上の町3-2-3ナニワビル2F tel.06-6852-1186



0120-223-468

営業時間/11時~20時 定休日/毎水曜日

公式ホームページ

イーガーマリッジ

検索

http://www.kekkon-em.com



特集

平成30年度一般社団法人神緑会総会開催報告

◆ 会長あいさつ

本日は、年初めの寒い時期にもかかわらずご出席頂き有難うございます。

また、この総会が無事開催できますのは、多くの方のご協力によるものです。各支部長には、開催費用の御支援を賜り有難うございます。同様に学内の各教室の方々にも御礼申し上げます。

関連病院長の方々には、委任状の取りまとめをお願いし、ご協力を得ました。大変有難うございました。

さて、時間の関係で手短な挨拶となりますが、最初に最近のマスコミをにぎわしている不適切入試問題に関してご説明いたします。先日、現職教授と名誉教授の会が開かれ、説明を受けました。東京医大の入試問題で女性や多浪に対する差別が表面化しました。国立大学で唯一、神戸大学の名前がでました。地域特別枠の推薦入試ですが、全国の71大学で1,700人弱の定員があります。神戸大学では、117名中の10名が兵庫県からの奨学金を利用した制度です。国の推進する医師不足、特に僻地対策ですが、兵庫県出身の学生が受験しますが、「地域性を重視した選考を行う」との説明が不十分とのことでした。それでも次年度以降は、ルールにのっとった形で同じような精神で入試が可能と聞いております。(この詳細は4頁の神戸大学広報の抜粋をご覧ください。)

神緑会の現在の重要課題は、昭和卒世代から平成卒世代に活動を継続することです。会費の納入の有無にかかわらず、平成世代には広報誌の送付を行いますし、昭和卒者にも学術誌の送付とHPを利用した年4回発行のニュースレターも読んでいただくことを可能としています。

75・150周年記念事業は、ご承知のように昭和24年卒業の坂上 明先生の高額寄付を基礎に、目標額の達成を目指しています。国立大学の運営費交付金の抑制の中で神戸大学大学院医学研究科、附属病院がより一層活動するには必要な記念事業です。最近、平田附属病院長からは、病院の将来計画の中で、容積率を300%から400%に変更する計画を神戸市と協議中と説明を受けました。平田病院長にも後程説明頂きますが、その際の事業で、神緑会館を一時的に移設し、8階建ての建物に建て替える案の説明をいただきました。中核病院指定に向けては順調に準備中です。(詳細は16頁の図参照)

本日は、総会と新春学術講演会、意見交換会と長時間ご渡りますがご協力お願いします。



司会
協議委員会副議長 岩井 正秀



奥町副会長



宮本 WEB 委員長



平田病院長



受付

医学部医学科推薦入試（地域特別枠）の入学者選抜について（お詫び）

平成30年11月22日

神戸大学

書類審査で、地域に配慮した配点を行っていることが学生募集要項に明記されていない旨を10月に実施された文部科学省の訪問調査において指摘された。

本学としましては、兵庫県の特性に鑑み、地域における医師の定着率を高めるために実施したのですが、次のとおり対応を行う。

1. 調査委員会の設置
2. 受験生への対応 省略
3. 平成31年度推薦入試 省略

医学部医学科推薦入試（地域特別枠）の入学者選抜について（お詫び）

平成30年12月27日

神戸大学

調査委員会の報告書が学長に提出され、その提言に基づき、合否の再判定等を行いました。その結果、2名が最終選抜合格者に、2名が第1次選抜合格者（最終選抜対象者）になりました。

1. 調査委員会報告書の要旨

平成30年度の入学者選抜においては、一律に地域性による配点が実施されていた。他の年度ではなかった。一部略

(3) 原因について

推薦入試実施委員会は秘匿性の観点から、この措置について公表の必要性がないと判断し、医学科内の合意を得ないまま学生募集要項にも記載しなかった。

(4) 再発防止対策について

- ・兵庫県内の特定の地域を重視する場合は、学生募集要項に明記し、受験生に分かる内容とすること。
- ・採点等の審査基準については、医学部長の同意を得る体制を構築すること。

(5) 新たな合格者や在学生への対応について

省略

(6) 関係者への処分について

調査において、学生募集要項に明記していなかったことについて不適切であったが、重大な非違行為は認められなかった。しかし、審査基準などを医学部長及び医学部医学科長が把握していなかったことは、ガバナンスの観点から問題があった。

(7) その他

2. 神戸大学における対応

- (1) 再判定について
- (2) 新たな合格者への対応
- (3) 次年度入試について
- (4) 在学生への対応について
- (5) 再発防止策について
- (6) 関係者の処分について ー検討中
- (7) その他 兵庫県との協議

平成31年度医学部医学科推薦入試の募集人員の変更について（お知らせ）

平成31年1月11日

神戸大学

10名の募集人員を8名程度に変更することをお知らせしたが、募集人員の減員を緩和する措置（文部科学省）により、10名として実施する。

なお、上記3つの広報の詳細は、神戸大学広報にてご確認ください。以上の状況により、神戸大学医学部医学科としての報告が未だできない状況であることをご理解ください。

物故者紹介

それでは、総会に進む前に、平成30年1月から12月までの物故者に対して黙祷をささげます。

各故人の在りし日を偲び、ご功績を讃え、謹んで個人のご冥福をお祈り申し上げたいと思います。ご起立をお願いします。黙祷

平成30年物故会員

卒年	氏名	ご逝去日	卒年	氏名	ご逝去日	卒年	氏名	ご逝去日
	名誉 服部 浩	2018年 2月 9日		大森 千里	2018年 6月24日		宮田 亮	2018年11月25日
	正イ 柴田 正樹	2018年 1月28日		波田 順	2018年 7月11日	S43	田中 郁人	2018年 4月23日
	安田 俊吉	2018年12月 9日	S34	本岡 龍彦	2018年 9月 3日		遅塚 修三	2018年 9月 9日
S26(医)	中川 一	2018年 5月29日	S35	中村 立一	2018年 5月19日		高橋 信之	2018年11月11日
	三原 英三	2018年10月12日		南 禮三	2018年 9月19日	S44	楠 美智子	2018年 7月30日
S26(医)	森 雅和	2018年 8月19日		平井 英	2018年12月17日	S45	藤谷 和太	2018年 1月 6日
S29	中村 勇	2018年 5月19日	S36	高宮 隆俊	2018年 4月18日		増田 重夫	2018年 4月14日
	湧谷 煌	2018年11月28日		鶴 圭一郎	2018年 7月31日	S46	渡部 洋三	2018年10月20日
S30	須波 昭雄	2018年 3月15日		斉藤 利實	2018年 8月21日	S47	梅谷 健彦	2017年 5月 4日
	森本 眞成	2018年 6月 5日	S37	石田 喬	2018年 2月23日		今川 正樹	2018年 6月15日
	谷本 潤一	2018年11月18日		内橋 裕	2018年 9月 7日	S52	宮前 政雄	2018年 6月 7日
S31	堀口 進	2017年11月18日		藤田 茂夫	2018年11月 9日	S58	山田 秀樹	2018年11月18日
	姉崎 赳夫	2018年 2月25日	S38	池村 義明	2018年 2月 5日	S63	岩木 稔裕	2018年 3月 3日
	白坂 能朗	2018年 6月13日		住野 公昭	2018年 3月 5日		坂本 英樹	2018年10月21日
	河原 恒一	2018年 7月16日	S41	大久保理夫	2018年10月20日	H2	良川 昌鳳	2018年 2月24日
	木谷栄之輔	2018年 9月20日		後藤 忠生	2018年11月17日			
S33	竹内 寿一	2018年 1月24日	S42	岡 暉邦	2018年 3月23日			
	花田 雅憲	2018年 6月11日		竹野 雅之	2018年 1月不明			

51名

報告事項 各委員会報告

- (1) 学術委員会助成事業募集報告
- (2) 広報委員会報告・情報委員会報告
- (3) 附属病院将来計画と神緑会館の移転（詳細図は16頁参照）
各担当より報告した。

審議事項

- 1) 神緑会事業 } ホームページに掲載します。
- 2) 予算 }
- 3) 役員改選に伴う選挙管理委員会の設置について、5名の選出を承認した。
- 4) 田中賞の新しい規程の制定（ホームページ掲載）

◆ 新任教授・栄誉者紹介

新任教授並びに栄誉者一覧

【神戸大学医学研究科及び医学部附属病院教授就任】

平成31年4月1日付 神戸大学大学院医学研究科長
 神戸大学大学院医学研究科 内科系講座 放射線診断学分野 教授
 神戸大学大学院医学研究科 外科学講座 心臓血管外科 教授
 神戸大学大学院医学研究科 内科系講座 消化器内科学分野 教授
 神戸大学医学部附属病院 教授・薬剤部長
 神戸大学大学院医学研究科内科学講座 神経内科学分野 教授
 神戸大学大学院医学研究科 地域社会医学健康科学講座 健康創造推進学分野 特命教授
 神戸大学大学院地域社会医学・健康科学講座 地域医療ネットワーク学分野 特命教授
 神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野 こども急性疾患学部門 特命教授
 神戸大学 先進のがん医療・研究推進学部門 特命教授
 神戸大学医学部産科婦人科学分野 婦人科先端医療学部門 特命教授
 神戸大学大学院医学研究科整形外科学分野 脊椎外科学部門 特命教授
 神戸大学大学院医学研究科外科系講座 災害・救急医学分野 先進救命救急医学部門 特命教授
 神戸大学医学部附属病院 感染制御部 特命教授

藤澤 正人 (S59)
 村上 卓道 (S61)
 岡田 健次 (S63)
 児玉 裕三 (H6)
 矢野 育子 (特別)
 松本 理器 (特別)
 田守 義和 (S63)
 鈴木 知志 (H3)
 野津 寛大 (H9)
 谷野 裕一 (特別)
 寺井 義人 (特別)
 西田 康太郎 (特別)
 井上 茂亮 (特別)
 宮 良高 維 (特別)

【神戸大学外教授就任等】

大阪市立大学大学院医学研究科 視覚病態学 教授
 旭川医科大学外科学講座 消化管外科学分野 教授
 甲南女子大学 医療栄養学部 教授
 昭和大学医学部内科学講座 循環器内科学部門 主任教授
 日本大学医学部小児科学系小児科学分野 主任教授

本田 茂 (H3)
 角 泰雄 (H6)
 堀田 博 (名誉)
 新家 俊郎 (H4)
 森岡 一朗 (名誉)

【病院長・医師会長等】

神戸赤十字病院 院長
 獨協医科大学埼玉医療センター 病院長
 兵庫県立加古川医療センター 院長
 公立宍粟総合病院 院長
 兵庫県立粒子線医療センター附属神戸陽子線センター センター長
 淀川キリスト教病院 理事長
 加古川医師会 会長

山下 晴央 (S54)
 岡田 弘 (S55)
 原田 俊彦 (S56)
 佐竹 信祐 (S57)
 副島 俊典 (S58)
 石田 武 (S44)
 中田 邦也 (S54)

【叙勲等】

瑞宝双光章
 文部科学大臣表彰 (平成29年度学校保健及び学校安全表彰)
 瑞宝中綬章
 平成三十年 日本学士院賞
 兵庫県功労者表彰 (学術教育功労部門)
 旭日中綬章

荘田 静 (S33)
 花岡 宏 (S34)
 吉本 祥生 (S39)
 清野 進 (S49)
 馬場 久光 (S53)
 邊見 公雄 (名誉)

受賞者コメント 代表的内容を掲載しました。学術誌に詳細は掲載します。**藤澤 正人**（神戸大学大学院医学研究科長・医学部長）

前田先生が言われたように4月1日が就任予定ですので、あと2か月ほどの間に何かあったらこの場にまた謝りに来るかもしれません。病院長を以前勤めましたが、病院業務とはまた違う医学研究科ですので、また違う面で非常に大変だと思います。病院がなければ神戸大学が成り立たず、医学研究科がなければ資金も非常に滞るという状況になっているのですが、六甲台に行くとは非常に肩身の狭い状況です。理事が十数名いますが、その中で神戸大卒の方が2人しかいない。医学部に対していろんな事由で賛同して頂ける状況であればいいが、なかなか難しい状況なので、うまく、どこにも角を立てないような状況で、かつ医学研究科が本部でのプレゼンス、あるいは兵庫県、日本そしてグローバルに頑張れるよう、先生方にご支援いただきやっていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。(29頁参照)

**児玉 裕三**（神戸大学大学院 消化器内科学 教授）

私は卒業後、大学、淡路で研修後、大学院から99年から京都にまいりまして、それから約19年間、京都大学で胆膵疾患の診療の研究に携わってまいりました。昨年4月にこちらで教授を拝命し、また神戸に戻ってこられたことを非常に嬉しく思っておりますので、今後は、神戸、兵庫県、阪神の消化器診療をもりあげていけるように努力してまいりますので、引き続きご指導のほどよろしくお願いします。

**松本 理器**（神戸大学大学院 神経内科学 教授）

12月1日付で教授を拝命しました。京都大学を卒業し、神経内科領域の診療、教育研究に従事してきました。当院の神経内科の教室は10年前に発足され、現在10年がたちました。神経内科の領域は脳卒中、物忘れ、てんかんから、LS、パーキンソン等に代表される神経難病にいたるまで幅広く、超高齢社会でますます大事な内科の領域だと認識しています。次の10年もさらなる発展を目指し、神経内科の診療、教育研究、特に次世代を担う若手の育成に尽力したいと存じます。

**田守 義和**（神戸大学大学院 健康創造推進学 特命教授）

昨年5月に拝命いたしました。健康創造推進学分野は神戸市の寄付講座です。神戸市は現在健康創造都市神戸、というものを設立し、健康寿命の延伸、あるいは健康格差の縮小を目標に、誰もが健康になれる街神戸、を目指して施策を行っております。今までの経験を生かし、今後は神戸大学と神戸市の連携を強化するとともに、神戸市における生活習慣病の診療体制のますますの充実をはかっていきたいです。

**野津 寛大**（神戸大学大学院 小児科学 特命教授）

私の所属する、こども急性疾患学講座は神戸市の寄付講座で、神戸市内の小児救急体制を整備するという使命をうけております。神緑会から助成もいただき本当にお世話になっております。これまで熱心に研究及び発表も行い、次世代に神戸大学の伝統をつなげる努力をしています。今後ともご指導ご鞭撻の程、何とぞよろしくお願いします。

**谷野 裕一**（神戸大学 先進的がん医療・研究推進学 特命教授）

和歌山医大を卒業後、胸部外科に入局、その後岡山にいました。乳腺外科を経た後、神戸大学に呼ばれて2年になります。乳腺外科、乳がんを中心にやっています。2人で始めて今は7名、この4月からは9名で診療することになっています。神戸大学に来てから、産官共同、医工連携など、たくさんの事をいろいろさせていただいて、嬉しく思っています。また先生方からもご紹介いただき、患者さんもどんどん手術・診療していきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。



寺井 義人（神戸大学 産科婦人科学 特命教授）

福井医科大学を卒業後、大阪医科大学で27年間過ごしました。専門は婦人科腫瘍で、特に腹腔鏡、ロボット手術等の鏡視下手術を、本邦の大学の婦人科で最も多く執刀してきました。婦人科手術においては鏡視下手術・ロボット手術は他の領域において少し遅れているため、婦人科腫瘍学会においても、このような内視鏡手術手技を広めるための委員会の委員長を拝命し、全国均霑化を目指して頑張っています。このたび神戸大学に寄せていただくことになり、根治性と安全性を担保しながら、より低侵襲で、安心・信頼される高度な医療を提供していきたいと思っております。そして、それを担う若手の、高い専門性と臨床能力を持った医師を養成し、神戸大学を、日本の中心地として婦人科領域において一目おかれるような存在にしていきたいと思っておりますので、患者様の紹介や、ご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



井上 茂亮（神戸大学大学院 災害・救急医学 特命教授）

神戸市出身、香川医大卒で、昨年の7月に拝命されました。神戸大学に赴任してからは日々の救急診療と、神戸大学は今年の7月に救命救急センター化を目指していますのでそれに向けた準備をすすめています。救急医療は、学生教育、研修医の教育にも非常に重要だと思っています。救急外来におけるプライマリケア、そして入院患者さんの集中治療を含めた全身管理は、いずれも将来の兵庫県、神戸大学の臨床を担う若手にとても必要な初期診療のエッセンスがつまっていると思います。また神戸大学は地域柄、非常に多種多様、かつパンチのきいた救急症例が非常に多くあります。この救急のおもしろさ、初期診療の醍醐味を若い先生方と一緒に、将来を担う人材を育成していきたいと思っています。



宮良 高維（神戸大学医学部附属病院 特命教授）

琉球大学を卒業後、30年間、呼吸器内科医として仕事をしてきましたが、半分の15年間は2つの大学病院で感染制御を担当していました。この経験を生かし、より安全な病院にするべくつとめていきたいと思っております。神戸大学には不思議な縁があり、昨年7月に入職し、拝命しましたが、実は娘が神戸大学医学部医学科に入学しており、一昨日は前田会長ご臨席の下に白衣授与式で、白衣をいただきました。神緑会の先生方にはこの場を借りて御礼を申し上げたいと思っております。娘とともにしっかりとつとめていきたいと思っております。



堀田 博（甲南女子大学 医療栄養学部 教授）

昨年4月から、甲南女子大学に新設した、医療栄養学部、ここは管理栄養士を養成する課程で、医療の世界でこれから栄養というものが非常に大事になるということで、栄養サポートチームなどの形でチーム医療に加わるような管理栄養士を育てたいというコンセプトで新たにたちあがった学部です。そこで私自身の微生物学、感染学等の教育を中心に、もうすこし広く、医学、医療、あるいは生命科学という分野で、医学部以外の所ですが、チーム医療に参画できるようなメンバー、特に管理栄養士を養成するというので、私ももう少し教育に携われる力があると思っていますので、できるだけ頑張り、尽くしたいと思っています。

【栄誉者】



山下 晴央（神戸赤十字病院 院長）

昨年4月より院長を拝命しています。神戸赤十字病院は15年前から隣接の兵庫県災害医療センターとともにここまでやってきました。その間、最初から神緑会の先生、大学病院の先生にご協力いただき、ここまでやってこれたと思います。引き続き、私達の病院も大学病院に協力をし、ご支援もいただき、ともにやっていけたらと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。



原田 俊彦（兵庫県立加古川医療センター 院長）

昨年4月から院長を拝命しています。加古川医療センターは非常に古い病院で、昭和11年に開設された病院がはじまりで、今年で83周年になります。県立病院ですので、政策医療というのをしております。その中でも救命救急センターがあるということは特徴で、日夜、三次救急を中心に医療を行っています。他の内科的な慢性疾患等もやっています。政策医療の中にはあと生活習慣病、感染症、神経難病、緩和ケア、の5つでやっています。超急性期から慢性期まで、総合的な医療で地域医療の中核を担いたいと思っておりますので、今後ともご指導をお願いします。

**佐竹 信祐**（公立秦荘総合病院 院長）

公立秦荘総合病院は数年前から兵庫県の僻地拠点病院のひとつに加えていただき、以来、兵庫県の県養成医師の研修もさせていただいています。それは当院の将来を担う医師の育成でもありと考え、できる限り頑張っていきたいと思っています。また、地域医療も医療過疎も進んでいる、はりま北西部の最後の拠点として、地域医療の中核を担うため、今後とも頑張っていきたいと思っておりますので、皆様よろしく申し上げます。

**副島 俊典**（兵庫県立粒子線医療センター附属神戸陽子線センター センター長）

陽子線というのは、副作用の少ない治療として、全国に20施設ぐらいあるのですが、実は小児がんの治療に関して非常に良いということがわかっているのですが、非常に手間がかかるので多くの施設が携わっていませんでした。神戸陽子線センターは小児がんに重点を置き、一昨年の12月に開院、昨年3月から小児がんの治療を続け、順調に症例を積み重ね、東は東京、神奈川から患者さんが送られてくるような施設になっています。成人に関しても治療をしていますが、まだ始まったばかりで入院施設もないので、神戸大学をはじめ近くの病院にいろいろお世話になりながら最適な治療をどうやってしようかと現在頑張っているとこのため、今後ともご指導ご鞭撻をよろしく申し上げます。

**石田 武**（淀川キリスト教病院 理事長）

淀川キリスト教病院は1955年、米国の教会によって設立されました。早い時期にアメリカの医療が日本に取り入れられ、海外に留学し臨床経験豊富なドクターが勤務され、新しい医療を学ぶために留学を希望される若いドクターなどが集まり、海外へ研修に出た、という実績があります。研修や医師の教育ははじめから熱心に行い、新しい臨床研修制度が始まるずっと前から、病院独自の研修システムを行っています。病院を維持していくには大学のご協力をいただかないとやっていけません。私達も頑張って、来られた先生方の指導等を熱心にしたいと思っておりますので、これからもぜひご協力、ご指導をお願いします。

**中田 邦也**（加古川医師会 会長）

私は61年、昭和の時代に開業していますが、加古川地区では、当時は4つの大きな病院がありました。現在では大きな病院が2つあります。医師会でも神緑会の先生方が非常に多く、毎年勉強会を開催しており、30年間続けてきました。神緑会の先生方は、開業医の先生も勤務医の先生も非常に多く、これからの医師会活動に関しても、先生方のご協力なくしては業務が滞ってしまうと思っておりますので、これからもご協力よろしく申し上げます。

**莊田 静**（瑞宝双光章）

卒業と同時に第2外科に入局し、心臓外科の黎明期に一生懸命になって患者さんをみた後、大阪で開業しまして、全然神緑会の先生がいないと思ったのですが、同じ区に皮膚科の先生がおられてびっくりしたという記憶があります。その方面で一生懸命やりまして、平成20年に文部科学大臣表彰を受け、こういうものもあるんだなあと思っていたら、去年からいわゆる叙勲の話がでまして、私でももらえるのかなあ、それに値するものじゃないけどなあ、まあいただけるものだったらNOというのもおかしい話なので、いただきました。宮中に行って天皇陛下にもお会いできました。良い思い出になりました。

**花岡 宏**（文部科学大臣表彰）

卒後、第一内科等を経て、昭和38年に長野県の生家に帰り診療所を開設しました。初代が明治5年に開業し、現在長男が5代目の管理者になっています。神戸大学の歴史を拝見すると、明治2年に神戸病院の開設で、時代的なご縁を感じているところです。今回の感謝状拝受については、開業以来半世紀にわたり、小学校の校医と、警察の死体検案業務を行い、死体検案数600名近くになりました。それは地域の医師として当然の仕事と認識しています。今振り返りますとお世話になる社会に少しはお返しのできたかなと思っているところです。

**清野 進**（第108回（平成30年）日本学士院賞）

特に膵ホルモン、インスリンの分泌と糖尿病の研究に従事してきました。約40年間、研究していますが、学位を取得後、米国、千葉大学を経て28年ぶりに2003年に母校に帰ってきて現在に到ります。この間、非常に大きなご支援をいただき、神戸大学で研究を進展させることができ、今回の受賞に到ったと思っており、心から感謝をしています。また、昨年の秋には、受賞講演会、祝賀会を開いていただき、その際神緑会に多大なるご援助をいただき、この場を借りてあらためて御礼を申し上げます。幸いあと4～5年研究ができそうなので、これからは私の研究のみならず、次世代を担う若い人の育成を通して医学研究科や神緑会に貢献していきたいと思っております。

◆ 新春学術講演会

■ 講演 I



消化器内科学分野 教授
児 玉 裕 三

演題「Basic Science に根ざした消化器内科診療を目指して」

講演要旨：平成30年4月1日より消化器内科分野教授を拝命いたしました。消化器内科の領域は、消化管・肝・胆・膵と対象臓器が多く、その対象疾患もがん・生活習慣病・感染症・免疫疾患など極めて多彩です。また、内視鏡治療技術の進歩に加え、新しい抗ウイルス薬や抗腫瘍薬の登場など、それぞれの臓器領域における診療内容は目覚ましい発展を遂げています。このような時代こそ、我々は内視鏡分野の先端技術をリードすると同時に、疾患の本質を見据えた地に足のついた消化器内科診療を目指すべきであると考えます。本講演では、これまでに取り組んできたの難病の病態解明研究をご紹介させて頂き、基礎研究の知見をどのように医療の現場へと活かしてゆくか、消化器内科診療の課題と将来展望について述べたいと思います。



司会 奥町副会長

研究のレベルは高く、さすがに京大での研究と感じた。
神戸大学でも重要視される消化器内科の代表として、前任の故 東教授と一味異なる視点での活躍を期待したい。
今回の講演は、的崎研究科長のご推薦によりました。 [編集部注]

■ 講演 II



生体構造解剖学分野 教授
仁 田 亮

演題「自己紹介と神戸大学における教育・研究の展開」

講演要旨：神戸大学に赴任して1年半が過ぎようとしています。私はこれまで関東地方での生活が長く、今回、初めて生活拠点を関西地方へ移しました。しかし、おかげさまで周りの方々に強力にサポートいただき、公私とも軌道に乗って参りました。私は、循環器内科医として医師の人生をスタートしましたが、心不全治療に対する内科的無力感から、基礎研究の道へと足を踏み入れました。そして、クライオ電子顕微鏡法・X線結晶構造解析法など分子の「かたち」を観る研究手法を学び、細胞骨格を中心とした構造研究を展開して参りましたが、ここ数年でようやく自分のやるべき研究が少しずつ見えて来た気がしています。また、前任地の東京大学時代から、解剖学教育はもちろんのこと、基礎研究医養成にも力を入れて取り組んでまいりました。神戸大学でも基礎医学研究医の養成プログラムの実行委員長として、徐々にではありますが、そのノウハウを取り入れ始めました。本講演では、自己紹介をさせていただきながら、これまでの私の教育・研究の概要をご紹介し、神戸大学でこれからどのような研究を展開していくのか、また教育面では、基礎研究医養成コースに焦点をあて、どのような取り組みをしてどのような将来像を描いているのかを概説させていただきます。



司会 前田会長

昨年の学術誌にプロフィールは掲載されています。小川医学専門学校長の親族一門の縁で東京女子医大細田元学長の推薦で東大廣川解剖学の教授の門下となり、形態と分子のレベルをつないだ高いレベルの研究で学生に与える刺激は計り知れない。 [編集部注]

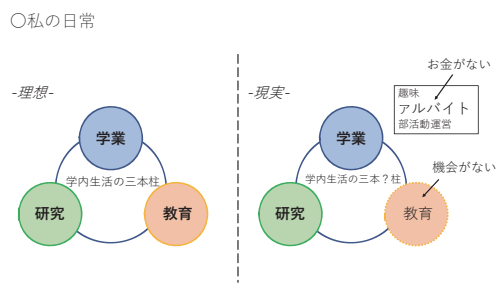
■講演Ⅲ



演題 「「下から」の医学科改革を目指して」

つかもと しゅういち
塚本 修一 (5年生)

- 略歴
- 1996年1月 兵庫県神戸市に生まれる
 - 2014年 兵庫県立長田高等学校卒業
神戸大学医学部医学科入学
 - 2015年10月 生化学・分子生物学講座
分子生物学分野(片岡徹教授) 配属開始
 - 2018年5月 病理学講座 病理学分野(横崎宏教授) に転属



神戸大学初の「研究医」2名の1人。
学生が神戸大学の教育・研究を変える意気込みが感じられた。

○私の研究

- 「がんの進展に重要な役割を果たす
マクロファージや線維芽細胞がいる」
- 一病理学講義が終わってようやく、この概念の興味深さを理解
- 食道扁平上皮癌細胞と腫瘍関連マクロファージとの相互作用に関する研究を行っている
- 一また新たな苦労の始まり
- 一でも、今回は背水の陣

1

○基礎医学研究医養成プログラム・特待生制度

現五回生から特待生制度開始
右が演者の塚本

初期研修二年目＝博士課程一年目

2

○私と教育—教育者としての私

- もともと教えることが好き
一医者じゃなかったら予備校の講師?
- 素晴らしい恩師との出会い、恩師への憧れ
一塾の数学・英語の師匠
一カリスマ性抜群の大学の先生方：解剖学・法医学など
- 人に教えることで、非常に多くを学んできた
一「この子は何をどう考え、どこでつまづいているんだろう?」
一教わる側の立場・気持ちを理解しないと、うまく伝わらない

→ **いつしか大学教育を、教育者の立場で見えるようになった**

3

○私と教育—学生としての私 1

- 殆ど全ての講義にちゃんと出席
一いい講義資料、わかりにくい講義資料
一爆睡する同級生たち
- 国試対策予備校を利用する同級生たち
一学年の90%は予備校 (TECOM, MEC) を利用している
一ちゃんと授業を受けていれば、必要ない管なのに
- 同じ内容を何度も講義される
一血液凝固を生化学でも臨床検査でも血液内科でも・・・
一非常に時間が勿体ない

→ **「もっと効率的な授業ができるはず」ともどかしい思い**

4

○私と教育—学生としての私 2

- 人は失敗して初めて学ぶ生き物である
一学生のうちは、痛みを伴わないから勉強しない
「教員側の努力」が実らない最大の理由
- 「学生時代は全然勉強しなかったわ」と語る立派な先輩方
一医師になり、現実味を帯びて初めて知識が頭に入る
- 「教員が教育の専門家ではない」ことを肌で感じる
一授業は研究、診療のついででしかない
一むしろ一種の雑用? **「ついで」でいいんです**

→ **誰にでも、「ついで」でできる、効率よい教え方が必要**

5

○今の医学(大学)教育の問題点 -大学側-

- 教える側が、教えられる側の視点・立場を知らない
一情報過多の授業、恐ろしくbusyな講義資料
一小声でぼそぼそ講義されても・・・
→学生と教員間の「距離感」
一遠慮しがち、言うに言えない
→ **教育改善の好機を逸する**
- 教育の現状把握不足
一何度も同じことを講義してしまう
- 学生からのフィードバック不足
一学生が意見を届ける窓口がない

6

○医学(大学)教育の問題点 -学生側-

学生が教育に興味がない!

意見を言っても見返りが無い
後輩のカリキュラムとか別にどうでもいい
どうせ意見しても何も変わらん

フィードバック不足

悪循環

距離感

現状把握不足

7

○学生-教員モデル(私案)

・現在の認識

そもそも
「学生と教員」とは何か?

卒業という名の「壁」

学生

→

教員

距離感、異質感

学生は学生
教員は教員
教員は学生時代の過去を捨てた?

学生は学生
教員は教員
教員は学生時代の過去を捨てた?

8

○学生-教員モデル(私案)

・同スペクトルモデル

様々な経験を積むことで、段々と成熟していく

➔

学生

研修医

教員

人生は連続しているのだから、教員も元は学生。
学生と教員の連続性を断つべきではない。
「かつての自分に教える様な」気持ちで教えるのよ!

9

○私の教育活動

学修委員制度

- ・2018年度より開始
- ・各学年数名の委員制
- ・カリキュラム評価委員会などに出席
- ・(学年の要望など取りまとめ、教務への橋渡し)
- ・4年次症候別チュートリアル授業シナリオ会議

**まだまだ活動が不十分
先生方と面談し、改善点を議論する金が少なすぎる**

10

○私の教育活動

学修委員制度



2018年12月8日 神緑会座談会
先生方と学修委員、学年代表が集まって、現在の神戸大学医学部を語る



11

○私の教育活動

本年度の活動

- ・2018年度 **医学科国際認証審査**への協力
- ・4年次症候別チュートリアル授業のカリキュラム作成
- ・BSL科目別試験に関する学生の意見調査

くらいしか・・・

- ・ **教員の考え・理想** と **学生の現実** の乖離
- ・ 何故**学生が真摯に勉強しない**のか
- ・ 現行カリキュラムの問題

など毎回強調

12

○私の教育活動

来年度の理想

- ・ **もっと教育活動の場が欲しい**←切実
— 私はもう6回生。今年しか残っていない
- ・ 先生方は**学生の真の姿を**、学生は先生方の**都合・意向を**
— 学生-教員モデル、学生のあるべき姿勢
- ・ **頼もしい後輩への継承**
- ・ **基礎医学研究医養成プログラムでの活躍**
— 研究成果、研究を志す後輩の教育

13

○まとめ

- ・ 学生は部活と飲み会ばかりしてるわけじゃありません。
- ・ 研究したり、教育に関与しようとする学生もいるんです。
- ・ 医学の進歩、社会の情勢に伴って、医学教育は「今」
変わっていかねばなりません。
- ・ 教育は「**教員-学生関係**」に他なりません。
「**医師-患者関係**」とよく似ていると思います。

14

情報交換会

会長挨拶

皆さん、総会及び講演会の適切な（とはいっても約1時間超過）運営にご協力いただき、ありがとうございました。

実は、教授就任や栄誉者の紹介で、ほとんど機械的にごく短時間で済ませていた点には反省があり、長くご挨拶をいただくこと等、やむをえない点がございます。

又、ご講演いただいた児玉消化器内科教授、仁田教授及び塚本君には大変ありがとうございました。児玉教授は研究の質の高いこと、仁田教授には、元東大解剖学の廣川教授のご講演の難しさを最新の研究機器で鮮明な画像で説明いただきました。塚本君の発表は、やはり神戸大の教育現場で評価いただきたいと思いました。大変ありがとうございました。

この場に多くの方に残っていただいて大変感謝します。

皆さんの情報交換が実りあるものになるよう期待して、会長のあいさつとします。



乾杯の発声 望月真人



岡田健次（63年卒）
心臓血管外科教授就任



学生参加者挨拶

●平成31年度神戸大学白衣授与式

初めて父兄の参加を求めた。多数の参加があり、式後の父兄の感想は大変良かったと言われた。



司会：河野誠司教務学生委員長



主宰：横崎 宏医学科長



平田健一 医学部附属病院病院長



待機する学生



着衣中（先輩が手伝った）

● 白衣授与式の感想

神戸大学医学部医学科4年生 大江 晃 央



学年代表 大江 晃 央

平成31年1月17日—私たちはとうとう白衣授与式を迎えました。と同時に、この日は阪神淡路大震災から24年という日です。当時、私はまだ生まれていません。でも、神戸という地で、あの震災からちょうど24年の日に、白衣授与式を迎えたことに身が震えました。

CBT、OSCE という関門を乗り越え、迎えた白衣授与式では、来られた先生方に白衣を着せて頂きました。そして、先生方や来賓の先生方にお言葉を頂きました。これからは Student Doctor として、負うべき責任を知り、身が引き締まる思いがしました。これまで何気なく歩いていたキャンパス内でも、ひとたび白衣を着れば、患者さんは医療従事者として、Student Doctor として、あるいはもはや医師と同等として、私たちが扱います。神戸大学の名に恥じぬよう、また Student Doctor の名に恥じぬよう、日頃から身なりや態度、言動に注意し、勉学にも一層励まなければならないという意識が一層高まりました。

白衣授与式で頂いた白衣は神緑会から頂いた白衣です。また、白衣授与式は今年度から私たちの保護者も参加できるようになりました。これまで支えてくれた両親に感謝するとともに、先輩方や両親からの期待を背負っていることを自覚しました。



着衣後整列

そして、この文章を書いている今、BSL (Bedside Learning) が始まって1か月ほどが経ちました。これまで机の上で勉強していたことが実際に目の前に繰り広げられており、BSLは大変勉強になります。しかしながら、まだまだ分からないことが多く、これからも勉強しなければならないことの多さを痛感します。優しく教えてください先生方からできるだけ多くのことを吸収しようと、BSLに臨んでいます。2年後、立派な医師になれるよう、これからも邁進していきたいと思えます。

最後になりましたが、白衣授与式を開催して下さった神緑会の方々、先生方、両親、そしてすべての関係者の皆さま、ありがとうございました。

宣 誓

我々医学生一同は、誠実さと思いやりの心を持って患者さんに接し、謙虚に学ぶ姿勢を忘れず、医療者としての責任を自覚し、社会に貢献できる医師を目指して臨床実習に臨むことを誓います。

平成31年1月17日 4年生一同



授与式後の記念撮影（大学教育スタッフと、のじぎく会）両翼後方は父兄

神戸大学医学部章（ロゴマーク）の説明

このマークは、神戸大学医学部の創立50周年を記念して作成されました。

神戸大学が立地している神戸市は、世界に門戸を広げている港町に建っているために、これを全面的にイメージして作成されております。

全体として、外回りは円形を示していますが、これは今後すべてが円滑に発展するよという大きな願望が包含されているのであります。それに加えて、医学部が人命救助という大きな目標をもって活躍していることにも関与して、人命救助への働きをする「浮き輪」の形態にもなっており、ともに人命を救助するという大きな意味合いが加味されているのであります。

またこの「浮き輪」の外周の4箇所には、赤、白、青、という3つの管状線が入っていますが、これは人体の全身にくまなく分布し、脈々と流動している脈管系を呈示しています。すなわち、赤は動脈を、青は静脈を、白はリンパ管を表示しているのであります。さらに、外枠には、神戸大学医学部の英文字 (KOB E UNIVERSITY SCHOOL OF MEDICINE) が明瞭にアレンジされています。

また、中央には天に向かった太いペンと、これにまつわる大きな蛇が呈示されています。これは勉学することによって得られる医学や医療のこれからの益々の発展と、全知全能のシンボルとして蛇と

を組み合わせ、KOB E UNIVERSITY の頭文字の「K」と、蛇の轡曲との「U」とが、大きくマッチング良く配置されており、さらにこれらがお互いに未来にむかつて無限に続く発展が、益々得られるような意味合いを含めたデザインとして明瞭に呈示されているのです。

外周の色は、カーキ色であり、ここに太い文字で神戸大学医学部の英文字が黒色の太文字で描かれています。なお、太いペンのペン軸は木調の茶色、ペン先は、プラチナ色、蛇はやや薄い黄色で呈示されており、全体の地色は大海を示す水色となっており、まさに神戸大学医学部が、世界にまたがる七つの海を悠々と航海している勇姿が示されているのです。

このわが神戸大学医学部章が、末永く学内のいろんな分野で活用されますよう願っております。

(デザイン、意匠、前第二外科教授 岡田昌義 昭和36年卒)

これまでの白衣右肩のロゴは、神戸大学のルールにより、100周年記念で制定されたものを使用していた(神戸大学の規則)。ところが、平成26年より、改正され、医学科50周年に制定された独自のロゴの使用が可能となった。



幻の卒業式の開催の実現に向けて

昭和44年、46年卒業の有志各位
拝啓

立春が過ぎたとはいえまだまだ寒い日が続いておりますが、皆様におかれてはご壮健にてお過ごしのことと拝察いたします。

突然の書簡で恐縮ですが、我々1969年(昭和44年)の卒業生は2019年に卒業50周年の記念の年を

迎えることとなります。

これまで先輩の世代はほぼ全世代に亘り毎年秋に開催される Home Coming Day (以下HCD) に合わせて、六甲台に集い、卒業50周年の記念の行事を行っており、我々も恒例に従い、50周年記念の企画をしようではないかとの話が持ち上がっております。

振り返れば昭和44年は学園紛争で卒業式も無く、卒業名簿もあるかないか定かではなく、つつい卒業後の同窓生の交流も制限的で、44年の同窓生のUpdateされた名簿も無いのが現状です。

そんな状況下でも既に東京ではよんよん会と称して全学部 Base で昭和44年の卒業生の組織化が図られており、来年のホームカミングデイ (HCD) には大挙して六甲台を訪れるとのことですが、生憎地元関西には今まで昭和44年の卒業生の組織化が図られていないのが現状です。

就きましては、関西在住の昭和44年卒のOBの組織化を図る為に、有志各位の情報力、企画力、実行力を動員して戴きたいと思っており、皆様に第1回目 Kick Off Meeting のご案内を差し上げる次第です。

2018年2月吉日

以上の呼びかけ文により、以下の会合が開かれた。

第1回 平成30年4月24日

大阪凌霜クラブで経済学部、経営学部、法学部の有志で意見交換。2019年のHCD (10月26日) に記念行事を行うこと。

第2回 5月5日

名簿整備、よんよん会 (関西) と称する。

第3回 7月24日

第4回 9月18日

他学部との接触。文、理学部。

第5回 11月20日

医学部は、6年の就学で40年の医学部入学生 (46年卒業) も44年卒業生 (昭和38年入学時は県立医科大学) のいずれも対象とする。

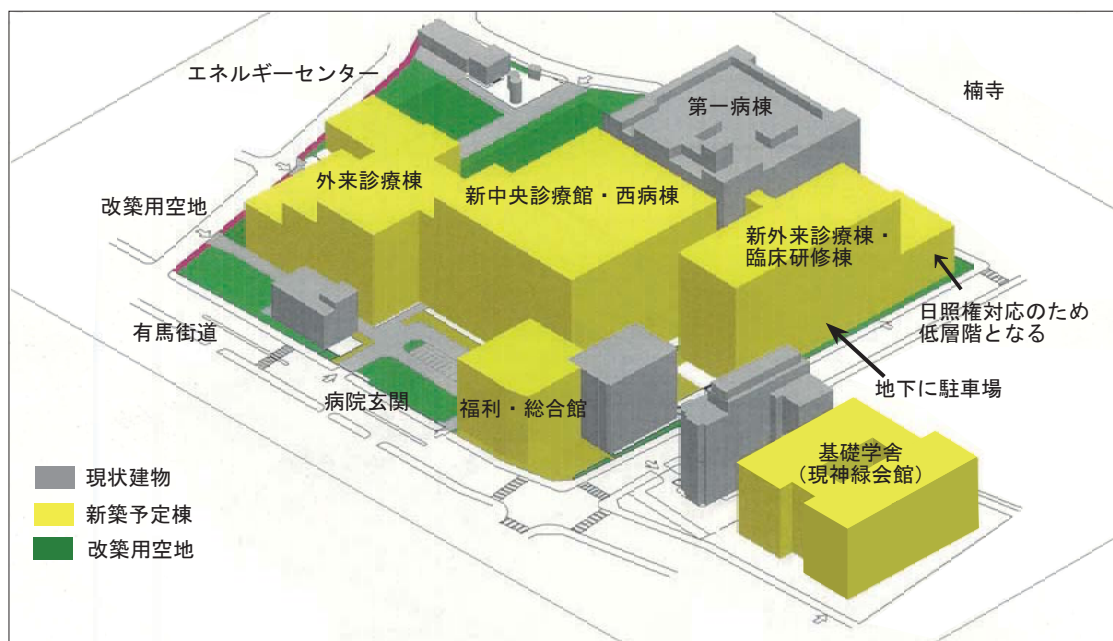
この段階で神緑会に問い合わせがあり、46年卒、大洞慶郎が窓口になっている。関心のある人は、神緑会事務局にご連絡下さい。

近く、準備委員会より、各人に呼びかけ文が届く予定です。

将来計画完成予想図 (病院、医学科)

第一段階で学生厚生棟が取り壊され、外来診療棟となる。この建物地下に駐車場を設置。この救済策として、現在の神緑会館を現駐車場近くに移転させて、6階建ての福利・総合館を建築する。その後、順次外来棟の整備が進む予定です。

今回、学生厚生棟の整備 (体育館の空調問題等) のために神緑会館 (現平屋建て) の高層化が求められている。学生が人質となり、神緑会の協力を求められているともいえるが、神緑会館スペースの拡大にもつながることとして協力予定です。容積率現行300%を400%に変更するよう神戸市に要望している。



京都大学 iPS 細胞研究所(CiRA)便り

京都大学 iPS 細胞研究所

神緑会の皆様、平素は iPS 細胞研究所 (CiRA) に継続的なご支援を賜り、誠にありがとうございます。今号では、2013年度から実施している「再生医療用 iPS 細胞ストック・プロジェクト」、第一症例目の移植が実施された「iPS 細胞由来ドーパミン神経前駆細胞を用いたパーキンソン病治療に関する医師主導治験」についてご紹介いたします。

iPS 細胞ストック・プロジェクトの今後について

京都大学 iPS 細胞研究所 (CiRA) では、国から競争的資金をいただき、2013年度から再生医療用 iPS 細胞ストック・プロジェクト (注) を実施しており、2015年から医療に使用可能な iPS 細胞ストックを医療・研究機関や企業に提供してまいりました。

CiRA は、iPS 細胞ストック・プロジェクトを長期的に推進するための方策の一つとして、現時点においては、公益財団法人に移行することを目指した新法人を設立することを選択肢の一つと考えており、2018年12月20日に開催された文部科学省の幹細胞・再生医学戦略作業部会で提案しました。また、今後の取り組みとして、ゲノム編集技術を用いて多くの患者さんに免疫拒絶が起きにくい iPS 細胞を作る技術の開発や、患者さん一人一人から低コストで iPS 細胞を作製する技術の開発を進めることも提案しています。

新法人設立を含む iPS 細胞ストック・プロジェクトの今後につきましては、上述の部会で審議されます。CiRA は、この部会によるご議論を尊重し、文部科学省とも協議して、最終的な方針を決定したいと考えております。具体的な方針が決まりましたら公表させていただきます。

(注) 再生医療用 iPS 細胞ストック・プロジェクト

HLA (ヒト白血球抗原) の型をホモ接合体 (免疫拒絶反応が起きにくい組み合わせ) の細胞を有する健康なドナーから採取した皮膚や血液 (末梢血・臍帯血) の細胞から iPS 細胞を作製し、あらかじめ様々な品質評価を行った上で、再生医療に使用可能と判断できる iPS 細胞株を保存するプロジェクトです。2013年度に開始し、2018年12月時点で、日本人の約32%をカバーできる iPS 細胞株を作製・提供しています。



Center for
iPS Cell Research and
Application

京都大学
iPS 細胞研究所

山中伸弥 iPS 細胞研究所・所長のコメント

「iPS 細胞ストックを用いた医療が本格化する十数年後を見据え、高品質の医療用 iPS 細胞を引き続き適正な価格で提供し、安定的に患者さんに届けることが、私たちの使命であると考えております。それを実現するために、公益財団法人を目指した法人を新たに設立することを選択肢の一つとして検討しています。」

「iPS 細胞由来ドーパミン神経前駆細胞を用いたパーキンソン病治療に関する医師主導治験」における第一症例目の移植実施について

京都大学医学部附属病院は、「iPS 細胞由来ドーパミン神経前駆細胞を用いたパーキンソン病治療に関する医師主導治験」における第一症例目の被験者に対し、ヒト iPS 細胞由来ドーパミン神経前駆細胞の細胞移植を行いましたので、ご報告いたします。

【手術について】

(1) スケジュール

実施場所 京都大学医学部附属病院
手術時期 平成30年10月
術者 脳神経外科 菊池隆幸医師 他2名

(2) 手術結果

約240万個のドーパミン神経前駆細胞を脳の被殻（左側）に移植しました。手術時間は3時間1分でした。この手術時間の中には移植細胞を準備する時間も含まれています。

【細胞移植の流れ】

(1) 移植する細胞の作製

使用する細胞は京都大学 iPS 細胞研究所 (CiRA) で作製された「再生医療用 iPS 細胞ストック」をドーパミン神経前駆細胞に分化させたものです。

iPS 細胞にいくつかの試薬を加えてドーパミン神経前駆細胞を誘導し、さらに未分化な細胞やドーパミン神経以外の細胞をセルソーティングという手法で取り除きます。最後に直径約300~400 μ m の細胞塊とし、その細胞塊を移植します。この製造工程で、ドーパミン神経前駆細胞ができていないか、未分化細胞が残っていないか、ガン化に関連した遺伝子異常はないか、細菌などが混じっていないか等について厳しくチェックします。作製期間は、約2か月です。

手術当日は、培養状態の細胞塊を、温度を一定に保てる運搬容器に入れて、CiRA から京大病院手術室まで運びました。

(2) 移植術の流れ

移植術は、定位脳手術という方法で行います。最初に被験者に全身麻酔を施し、頭部に「フレーム」という、目盛りが刻まれた機器を取り付けます。これを装着したままで頭部 CT を撮影し、定位脳手術用のプランニングソフトを用いることで、予め術前の MRI で検討しておいた標的（ターゲット）と、そこに到達するまでの刺入経路（トラジェクトリ）を実際の患者さんで実現できるようになります。

手術室では、まず頭蓋骨（前頭部）に直径12mm 程の穴を開けます。移植細胞の準備が終わるのを待ち、プランニングソフトで算出された座標と方向に基づいて細胞注入用の針を進めてゆきます。目標点まで進めたら、あらかじめ決めたとおりの方法で細胞の注入を行います。

移植するドーパミン神経前駆細胞は、手術中に CiRA から運ばれてきます。手術室では、刺入経路ごとに細胞を準備します。針の穿刺を行うごとに、その都度必要分の細胞を遠心分離機にかけて上澄みを除去し、専用の注射器に充填し、被殻と言われる部分に片側あたり合計約240万個の細胞を注入（移植）します。3本の刺入経路を用い、1本の刺入経路あたり2mm 間隔で4箇所、合計12箇所に注入しました。

今後、さらに6名の患者さんに移植手術を行い、一人につき2年間の経過観察を行います。すべての患者さんの経過観察が終わるのは2022年ごろになる見込みです。

※被験者の募集は2019年1月末日に終了しました。

【iPS 細胞研究基金についてのお問い合わせ先】

iPS 細胞研究所 iPS 細胞研究基金事務局
〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町53
TEL : 075-366-7152 FAX : 075-366-7185
メール : ips-kikin@cira.kyoto-u.ac.jp
資料請求専用フリーダイヤル :

0120-80-8748 (平日 8時半~17時)

ハシレ ヤマナカ シンヤ

京都大学基金ウェブサイト

「京都大学基金」で検索してください。
URL は以下の通りです。

<http://www.kikin.kyoto-u.ac.jp/>

株式会社クレディセゾンとの連携協定を締結しました

神戸大学は、株式会社クレディセゾンと「神戸大学基金」事業の協同推進に向け、それぞれの持つ人材や知識・情報等の資源を活用し相互に協力することにより、教育研究活動や国際交流への支援、及びこれに資する人材育成等を目的とした連携協定を11月26日付で締結しました。

今回の連携協定を基に、共同で以下の施策を実施します。

1. セゾン永久不滅ポイントによる神戸大学基金への寄附活動を通じた大学活動支援
2. 大学関係者（学生、OB・OG、教職員等）に対するセゾン・アメリカン・エクスプレス・カード入会促進を通じた関係者組織化の推進及び交流の拡大支援

さらに今回の協定締結を契機として、さらなるキャッシュレス社会到来を見据え、以下のような活動を共同で展開していく計画です。

- ・クレディセゾンが持つノウハウの活用による大学経営諸業務の効率化や働き方改革の推進
- ・キャッシュレス社会を見据えた「学内キャッシュレス化」の実現
- ・クレディセゾンのノウハウを通じた学生向け金融教育の展開
- ・寄附施策拡充に向けた地域行政や企業との連携の推進

セゾン永久不滅ポイントの交換やセゾン・アメリカン・エクスプレス・カードの入会に係る詳細については、右の神戸大学広報をご覧ください。

2018年11月29日

(企画部卒業生・基金課)



11月26日（月）の連携協定締結の様子。神戸大学東京六甲クラブにおいて、左から、株式会社クレディセゾン 林野代表取締役社長・神戸大学 武田学長。

永久不滅ポイントで神戸大学の活動を支援しよう!

ポイントによる寄附
神戸大学基金事業への寄附 (500円) **100 POINT**

- 1 世界最高水準の教育研究拠点の構築
国際化に向けた教育・研究活動
- 2 国際化に向けた教育・研究活動
学生・教員の海外派遣、留学生・海外研究者の受入への支援等
- 3 学生の課外活動・ボランティア活動支援
海外活動経験者への入学支援、留学生・ボランティア活動への支援等

アイテムに交換して寄附

- 神大うりばーミニマスコット **300 POINT**
- エレコムモバイルバッテリー **500 POINT**

神戸大学の学生・卒業生・教職員の皆様限定

SAISON AMERICAN EXPRESS® CARD

ご入会で**永久不滅ポイント** プレゼントキャンペーン実施中

卒業生・教職員の皆様	学生の皆様	
GOLD セゾングルッド・アメリカン・エクスプレス・カード 初年度 年会費無料 2年目以降年会費 10,000円(税込)	BLUE セゾンブルー・アメリカン・エクスプレス・カード <U25応援> 26歳になるまで年会費無料 26歳以降年会費 3,000円(税込)	PEARL セゾンパール・アメリカン・エクスプレス・カード 初年度 年会費無料 2年目以降年会費 1,000円(税込)

カードにご入金いただければ、すぐに神戸大学基金へ寄附できます!

	GOLD	BLUE	PEARL
永久不滅ポイント優遇サービス (1,000円=1 point)	海外 2倍 国内 1.5倍	海外 2倍	海外 2倍
国内空港ラウンジサービス	国内主要空港とダニエル・キーン国際空港(ハワイ)のラウンジサービス ご利用無料	—	—
海外空港ラウンジサービス	世界1,200ヵ所以上でご利用可能なサービス(プライオリティパス) 年会費優遇 年会費:10,000円(税込) (通常年会費 4,290円)	—	—
手荷物無料宅配サービス	復路 無料	復路 無料	—
海外旅行傷害保険 (傷害死亡・後遺障害) 自動付帯	本会員 5,000万円 (上限 1,000万円)	本会員 3,000万円 (ファミリーカード会員 1,000万円)	—
国内旅行傷害保険 (傷害死亡・後遺障害) 利用付帯	本会員 5,000万円 (上限 1,000万円)	本会員 3,000万円 (ファミリーカード会員 1,000万円)	—

セゾン・アメリカン・エクスプレス®・カードのお申し込みは <https://www.saisoncard.co.jp/amextop/shin-dai>

寄付のお願い

さらに「誇り」を持てる大学にするために

一般社団法人神緑会理事 千原和夫 (昭和45年卒)

のっけから精神論になりますが、人間が自信を持って力強く生きていくためには、自分では意識していなくても、自分自身の生き方の根っここのところで、「自尊心」や「誇り」を拠りどころにしていることに気付くはずです。「誇り」にも色々なレベルがあると思います。医師として診療に携わり、患者や家族から頼りにされていることを実感すれば、自分を必要とする他人がいることで、医師としての誇りを持って仕事に励めます。サッカーや野球の日本代表ががんばった時に、日本人というだけで感じる「誇り」もあります。日本代表以外は仕事をしたわけではありません。けれども、自分が成し遂げた仕事のように言い知れぬ「誇り」を感じます。「誇り」とは不思議なものですけれど、それを成し遂げた文化や歴史を共有する組織の一員として、われわれ日本人は「誇り」を感じるわけです。身近では、自分の父親がこんな生き方をしたのだ、自分の母親はこんな母親であったのだ、自分の会社にはこんなに素晴らしい先輩がいたのだという事を知ったとき、人が誇りを持つ事ができます。例えば、企業に勤務する人間であるならば、自分の会社をほめられたりそこで働いている事を誉められたりした時に「誇らしく」感じることもあるでしょう。

少し前、神戸大学医学部附属病院に勤務する若いスタッフに、「この大学病院の前身は、1869年（明治2年）に開院した「神戸病院」なので、大学病院は150年の歴史を持つ日本有数の病院なんだよ。」と教えたところ、「わぁー、知らなかった！これからはそんな病院で働いているんだということで、すごく誇りになります！」と話してくれました。山中伸弥先生のノーベル賞受賞が決まった後、私と一緒に研究していた後輩の中堅クラスの同僚が学会で他大学の研究者から「山中先生は神戸大学の卒業生なんだね。」と祝福され、誇らしく感じましたと言っていました。誇りとは、名誉に感じる事、自尊心とも言えるかもしれませんが、自分自身、自分個人に対しての自尊心というよりも、「先輩のノーベル賞受賞を誇りに思う」「代表としての誇りを持

つ」などの用例のように、自分の所属している集団や出自に対して抱く感情が大きく、時としてそこに所属している自分自身の優越感を含みます。

これから活躍が期待できる若い神緑会の会員が誇りを持てるような大学に神戸大学をしていくには、創立150周年を迎える大学病院の歴史や有能な人材を輩出した実績や伝承されてきた価値観や文化を彼らに伝えることは重要なことですが、それ以上に大切なことは、現在の神戸大学をより発展させ、若い人達を引き付ける魅力ある大学にしていくための地道な努力だと思います。診療、そして教育研究機関としての大学が人材を育成するためには、施設の充実や様々なプロジェクトを運用する予算が必要です。ご存知のように、国立大学では、政府から拠出される運営費交付金が年々削減されており、外部資金の獲得は重要な課題となっています。受託研究や受託事業などの収益はありますが、やはり寄付金は大きな収益の柱となってきています。

公表されている国立大学法人の決算書をみますと、2017年度に受け入れた寄付金の総額で最多は東京大学で132億円、2位は京都大学の116億円ですが、3位には鹿児島大学の91億円が入っています。4位、大阪大学の73億円、5位、名古屋大学の57億円を上回る金額ですが、これは京セラやKDDIの創業者で鹿児島大学OBでもある稲盛和夫氏からの寄付が押し上げたとのこと。因みに神戸大学は30億円で、9位の北海道大学32億円に続いて、何とかトップ10にはランクされています。

政府は個人が国立大学法人に寄付しやすくなる税額控除制度を導入しています。以前から、国立大への寄付制度として、寄付額を課税所得から差し引く所得控除制度がありましたが、さらに今までの所得控除に加え、税額控除も新たに選択できるようになっています。おりしも、来る平成31年は神戸大学医学部医学科創立75周年・神戸病院創立150周年にあたり、その記念事業実施に向けて募金活動が進行中です。母校の更なる発展を期して、一層の募金奮発願えれば幸いです。

神緑会の寄付金目標額残り5,000万円です！

医学部創立75周年、神戸病院創立150周年の記念事業は、神緑会の目標の2億円は達成できそうになって来ました。50周年記念事業とどうしても比較しがちですが、卒業生の増加に比し、なんとも歯がゆい思いでした。1年目、24,531,515円、2年目130,151,515円、3年目末14,592,8018円でなんとといっても、昭和24年卒の坂上 明先生の破格の寄付に大きく依拠している。神緑会理事会としては、ふるさと納税などが注目される時代の寄付活動や銀行利子ゼロ、医療・介護活動の困難さなどに思いをはせながら腰折れ状態になりながら、坂上先生の意志に報いる方法を模索してきました。大学担当分の寄付活動が難しい中で、動きが出始めました。働き盛りの学年を中心にクラス代表、支部長の再結集を図りながら、9月1日の記念式典を迎えましょう。

平成31年1月末時点での卒業年別寄付者数です。

() 内の数はこの3か月間 (11-1月) に新規ご寄付頂いた増加人数です。

卒業年 (和暦)	寄付者数 (人)	卒業年 (和暦)	寄付者数 (人)	卒業年 (和暦)	寄付者数 (人)	卒業年 (和暦)	寄付者数 (人)
昭和24年	@ 3	昭和42年	@ 10 (2)	昭和60年	12 (2)	平成15年	3
昭和25年	1	昭和43年	*@@@ 12 (1)	昭和61年	@ 15	平成16年	2
昭和26年	1	昭和44年	@ 6	昭和62年	4	平成17年	1
昭和27年	4	昭和45年	10 (1)	昭和63年	5	平成18年	1
昭和28年	@ 3	昭和46年	@@ 10 (1)	平成元年	6	平成19年	@ 4
昭和29年	4	昭和47年	5	平成2年	8	平成20年	2
昭和30年	0	昭和48年	@ 3	平成3年	4	平成21年	2
昭和31年	4	昭和49年	8 (1)	平成4年	4	平成22年	3
昭和32年	1	昭和50年	@ 5	平成5年	5	平成23年	2
昭和33年	1	昭和51年	5	平成6年	* 7 (2)	平成24年	1
昭和34年	4	昭和52年	@@ 17 (1)	平成7年	3	平成25年	0
昭和35年	*@ 4	昭和53年	* 6	平成8年	2	平成26年	1
昭和36年	4	昭和54年	5	平成9年	10 (1)	平成27年	0
昭和37年	7	昭和55年	@@ 9	平成10年	8	平成28年	0
昭和38年	2	昭和56年	@ 14	平成11年	4	平成29年	1
昭和39年	3	昭和57年	10 (2)	平成12年	4	平成30年	0
昭和40年	10	昭和58年	@@ 10	平成13年	5	特別会員	@@ 31
昭和41年	@ 5	昭和59年	9	平成14年	3	寄付合計 人数	346名 (14)

* クラス一同でのご寄付 @ 30万以上のご寄付 東海支部よりご寄付 ※総計 約2億800万円

ラグビーワールドカップ2019™ 日本大会 神戸で4試合開催

公益財団法人ラグビーワールドカップ2019組織委員会神戸地域支部

ラグビーワールドカップとは？

ラグビーワールドカップは4年に一度開催されるラグビーの世界大会です。オリンピック、サッカーワールドカップに次ぐ世界三大スポーツイベントであり、9回目となる今回はアジアで初、ラグビー伝統国以外で初めての開催となる歴史的な大会です。

予選を含む参加チームの数は第1回大会（1987年）が16チームでしたが、日本大会は73チームが参加しています。単独競技のスポーツイベントとしてはサッカーワールドカップに次ぐ有料入場者数をほこり、大会の開催期間も長く、日本大会は44日間にわたり、オリンピックやサッカーワールドカップを大きく上回ります。

前回のイギリス大会では247万人が観戦し、40億人がテレビで視聴したと推定されています。日本大会の経済効果は4,372億円、雇用創出効果は25,000人、大会を目的にした訪日外国人客は40万人とされています。



4年に一度じゃない。
一生に一度だ。
— ONCE IN A LIFETIME —

開催期間は2019年9月20日（金）から11月2日（土）まで。ラグビーワールドカップ2019™の各プール上位3位までの12チームと、世界各地の予選を勝ち抜いた8チームの合計20チームが、優勝チームに与えられる「ウェブ・エリス・カップ」をかけて、国内12会場で、世界最高レベルの技とスピード、世界が熱狂する迫力で全48試合が行われます。

神戸会場

神戸の試合会場は、2002年にサッカーワールドカップが開催された御崎公園球技場。



海外で採用されているハイブリット芝を日本で初めて導入しています。本スタジアムの大きな魅力は、観客席とピッチの距離が近いこと。タックルの際の体がぶつかり合う音や、選手の息遣いまでもが体験できます。世界最高の戦いを間近に観戦できる神戸会場へぜひお越しください。

【アクセス】神戸市営地下鉄海岸線「御崎公園」駅から徒歩5分



チケットの一般先着販売が開始

1月19日から、ラグビーワールドカップの第二次一般先着販売が始まっています。チケットは公式サイトから購入することができます。まずは公式サイトでチケットID登録をお願いします。また、第三次一般先着販売は5月以降に始まる予定です。

STEP 1

大会公式サイトからチケットIDの登録
(すでに登録した方は不要)

お手持ちのパソコン、携帯電話から下記のQRコードを読み込むか、「ラグビーワールドカップ」で検索。公式サイトで個人情報を入力し、仮登録を行い、届いたメールで本登録を完了する。



〈公式チケットサイト〉
<https://www.rugbyworldcup.com>

STEP 2

チケットの購入・支払い

公式チケットサイトにログインし、希望チケットを申込する。クレジットカード又はコンビニエンスストアで支払い。

神戸開催のみどころ

神戸では、予選ラウンドの4試合が行われ、イングランド、スコットランド、アイルランド、南アフ

リカといった世界の強豪国が神戸に集います。日本代表の対戦相手すべてが神戸にやってきます。また、神戸開催の4試合すべてに世界ランキング一桁の強豪が登場します。何より、ピッチとの距離が近く、迫力のプレーを間近で観戦することができます。

イングランド対アメリカ

前日本代表のHC エディー・ジョーンズ氏が率いるイングランドと、メジャーリーグフットボールが開幕したばかりのアメリカが対戦。

スコットランド対サモア

2015年大会は3点差でスコットランドが勝利した。サモアのリベンジなるか？

アイルランド対ロシア

ニュージーランドと共に優勝候補のアイルランドと2回目の出場のロシアが対戦。

南アフリカ対カナダ

過去2回優勝経験の南アフリカが登場。フィジカルでは世界最強ともいえる南アフリカにカナダが挑戦。

神戸での観戦は強豪国のアイルランド戦や南アフリカ戦がオススメです。

キックオフ		対戦カード	
9月26日(木)19:45	プールC	イングランド 	vs.  米国
9月30日(月)19:15	プールA	スコットランド 	vs.  サモア
10月3日(木)19:15	プールA	アイルランド 	vs.  ロシア
10月8日(火)19:15	プールB	南アフリカ 	vs.  カナダ

この記事は、大学広報を行う神戸市の組織委員会の依頼を受けて、医学科ラグビー部OB会長、常深先生(42卒)の仲介により掲載した。

2018年度大倉山祭開催報告

2018年度大倉山祭実行委員長 大野 聖 真 (学部4回生)

今年度も10月、11月にかけて大倉山祭が開催され、大倉山祭実行委員会のもと「スポーツ大会」「医療シンポジウム」「大倉山祭本祭」の3つの企画を行うことができました。

今年度は「コーベ・ブルー～平成最後の青春祭～」というテーマのもと、総勢37名の実行委員と共に、来場者の方々が青春を感じられるような活気に満ちた大倉山祭を作り上げるべく奔走して参りました。

10月20日(土)に開催されたスポーツ大会では、学部生が組んだ有志のチームが優勝を目指し、白熱の戦いを繰り上げました。素晴らしい秋空の下、学年や部活を超えた戦う姿はまさに青春といえるものでした。また、今年度のスポーツ大会は神緑会の御協力のもとに、神戸大学病院の各教室にもスポーツ大会のお知らせを宣伝させていただきました。

11月10日(土)には「うつと薬」というテーマのもと医療シンポジウムが開催されました。ご講演には神戸大学医学科生1名、神戸大学医学研究科教授2名にお越しいただき、身近な病気であるうつ病とその薬についての知識を深めました。市民公開講座ということもあり、医学生だけでなく、多くの地域の方々にもお越しいただきました。医療シンポジウムについては後のページにて詳しく紹介しておりますので、ご覧いただけると幸いです。また、同日に神戸大学研究棟B棟テラスにて東洋医学研究会が「恋愛と漢方薬」というテーマのパネル展示と漢方薬の試飲会を行い、部活動の成果を発表しました。

11月18日(日)の本祭は、「コーベ・ブルー」の名に恥じないような素晴らしい青空の元で開催されました。ステージ企画をはじめとし、模擬店企画やサイドステージ企画などを通して大倉山公園は活気に満ちていました。ステージ企画では、毎年恒例となった軽音部とクラシック愛好会による音楽ライブ、人気吉本芸人による吉本お笑いライブ、



大倉山祭実行委員総勢37名

医学部部活対抗の看板娘企画と男子企画、豪華賞品の当たるビンゴ大会と趣向を凝らしたプログラムが組まれました。サイドステージでは、ジャグリングやクラシックギター、BMX(自転車)の昨年のプログラムに加え、今年は指パッチンギネス記録保持者による演奏や、新企画として実行委員主体のフラッシュモブを披露し、例年以上の盛り上がりを見せました。会場には各部活が出店する模擬店が立ち並び、来場者の投票で決まるB1グランプリの優勝に向け、どの部活もアピールに熱が入っていました。実行委員ブースである「受験生相談コーナー」では神戸大学の受験を考える高校生や保護者の方に対して合格に向けたアドバイスを実行委員が親身となって行い、「縁日」では小学生以下を対象にスーパーボールすくいを実施しました。「占い」コーナーでは実行委員が手相やタロットカードを用いて来場者を占い、相談に乗っていました。また、去年から始まった「出張!六甲健康ランド」で



本祭当日はたくさんの来場者に恵まれました

は、神戸大学生生活協同組合のスタッフと白衣姿の実行委員のもと、普段測定することのないアルコールパッチテストや体脂肪測定、骨密度測定、肌年齢測定などを気軽に行うことができました。また、管理栄養士の方に食生活について相談することができるコーナーもあり、医学部らしい企画で好評でした。午前だけの企画ではありましたが、多くの人が訪れました。

今年度の大倉山祭はテーマにも掲げた通り、「平成最後の青春祭」を体現すべく、今まで以上にポスターやインターネットへの掲載などによる広報活動や協賛企業の獲得、各企画の充実を目指してきました。結果、本祭では延べ3300人の方が訪れ、大倉山公園が活気に包まれました。人数の内訳として、9割ほどが一般の方の来場でした。この結果から、大倉山祭が地域の方々が必要とされていると感じたとともに、この学園祭は地域の一環であり、地域の方々へと還元できるようにこれからも大倉山祭の発展に向けて精進しなければならないと心に受け止めました。

この大倉山祭は人との繋がりがなければ成しえなかったものと考えます。今年度の大倉山祭実行委員会は例年よりも人数が少なく、それ故に様々な困難がありました。しかし、その度に学年や部活を超えた繋がりを深め、協力して乗り越えてきました。先生方や地域の人々、多くの企業の協力無しではここまで大きな学園祭はできなかったでしょう。この1年弱を通じてどれほどの人が手を貸してくださっているのか、その大きさと重要性を再確認することができました。

今回「コーベ・ブルー～平成最後の青春祭～」が無事開催できましたのも、ひとえに神緑会会員である先生方からの温かいご支援・ご協力があったことと存じます。今年は会員の皆様より150万円を

超えるご寄付をいただきました。皆様から頂いたご寄付により、ポスターやパンフレットによる大倉山祭に関する広報活動や吉本芸人ライブをはじめとするゲスト招待、新企画の開催、大倉山公園の設営、安全対策の充実、という大倉山祭をさらに発展させるべく物事を進めることができました。心より感謝と御礼を申し上げます。

平成の大倉山祭は今年度で最後になりますが、来年度以降も大倉山祭が発展し続けるよう、次世代への引継ぎも精進するつもりです。今後とも、私たちの学園生活への変わらぬご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。ニュースレターのページをお借りいたしまして、大倉山祭のご報告と御礼の挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。



昨年に引き続き好評だった「出張！六甲健康ランド」



ビンゴカード売りと本部



大倉山公園に様々な模擬店が立ち並びました



委員による「占い」ブース



音楽ステージ



新企画のフラッシュモブ

「大倉山祭医療シンポジウム」を開催しました

大倉山祭医療シンポジウム実行委員長 松 倉 裕理華 (学部3回生)

平成30年11月10日(土)、研究棟B第一講堂に於いて大倉山祭医療シンポジウムを開催しました。「うつと薬」をテーマに、近年社会問題ともなっているうつ病を、様々な脳の働きや、またそれに基づいた創薬の進展について地域の方々にも来ていただき共に学びました。

講師として神戸大学医学研究科生理学分野教授である和氣弘明先生と神戸大学医学研究科薬理学分野教授である古屋敷智之先生をお招きしました。和氣先生は、光学技術から迫る脳の機能について、古屋敷先生はうつをストレスという観点から見た治療薬についてお話してくださいました。また、学生発表として味岡雄大さん(学部2回生)に即効性うつ薬として期待されるケタミンの作用について発表していただきました。

専門的な内容に関しても大変わかりやすく紹介されており、活発な質疑応答も見られ、有意義な時間になったのではないかと考えております。ご来場いただいた方からは「自身もうつ病に悩んでいる

のでとても参考になった」「楽しく聞くことができた」などといったご意見もいただきました。

また、東洋医学研究会による恋愛と漢方をテーマにしたパネル展示と漢方の試飲も同時に行われました。

末筆ではございますが、本シンポジウムの開催にあたりご尽力くださいました多くの方々にご場をお借りして感謝申し上げます。特に、大変お忙しい中講演を快くお引き受けくださいました、和氣先生、古屋敷先生には重ねて厚く御礼申し上げます。また、神緑会、兵庫県医師会、神戸市医師会の皆さまにおかれましてはご支援いただき誠にありがとうございました。

大倉山祭医療シンポジウムは毎年大倉山祭の一環として行われております。来年度も11月頃の開催を予定しておりますので、是非たくさんの方にお越しいただき、学生も地域の方々も交えて医学への理解をさらに深める良い機会になることを望んでおります。



学生発表の様子



医療シンポジウムのご講演(古屋敷教授)

神戸大学医学部 USMLE 勉強会 年次報告

神戸大学医学部医学科	2年	川端野乃子、中島 梨沙、與那城 陽
	3年	岩田 知也、小田木緋里、木多 杏依、國分 杏奈、佐久間 啓、杉 義人、辻 ゆり佳、富田 浩貴、藤井 克成、廣橋 伸太、布田 大志
	4年	近藤 杏名、税所 綾子、橋本明香里、富手 生成、原田 大輝、藤山 舞、水越 淳、水原ルーク、山岸 陽助
	5年	伊藤 弘樹、嶋津 歩
	6年	谷村 昌哉、藤澤 聡、南井 崇宏
神戸大学医学部大学院	D4	Maimaitili Yimamu
大阪大学医学部医学科	2年	春名壯一郎
大阪市立大学医学部医学科	3年	S 君

【神戸大学医学部 USMLE 勉強会】

神戸大学医学部では各学年1-2名が在学・卒業後にUSMLE合格を、各学年6名程度が自己研鑽のためのUSMLE勉強をしますが、グループ学習でペース配分・モチベーション維持を図ろうと、4年前から少人数でUSMLE勉強会が開催されていました。今年度は学年を超えてメンバー数30名、1-2年上の学年がStep1、Step2 CS/CKを教える屋根瓦式で行われました。この場をお借りして、年次報告させていただきます。

【USMLE とは】

United States Medical License Examinationの略です。

【神戸大学医学部 USMLE 勉強会 今年度の概要】

ゼミ人数：神戸大学医学部生2-6年+学外・院生合わせて30名。

対象：医学科2年生以上

メンバーの動機：USMLE合格・アメリカ医師免許取得も視野にあり(50%)、海外臨床/研究留学に興味がある(40%)、知識定着・成績向上(10%)

対応試験レベル：USMLE Step1、Step2 CS、Step2 CK

活動頻度：教材から3-5問±実力テスト7問/回×1時間/回×3回/週(月・火・金)

活動場所：神戸大学図書館 医学分館2Fグループ研究室 or 地域医療活性化センターのチュートリアル室 or A/B/大講義室

使った教材：First Aid Q&A for the USMLE Step1、UWorld USMLE Step1 Q Bank、Harrison's

Principles of Internal Medicine Self Assessment and Board Review 19th edition など

活動方法：月曜2年対象の基礎医学(発生学→微生物・感染症学)、火曜と金曜は3年生以上対象の臨床医学(循環器内科→心臓血管外科→糖尿病内分泌内科→救急→整形外科→泌尿器科→腎臓内科→肝胆膵食道胃腸外科・乳腺外科)クラス。解説担当(USMLE Step1取得者、高学年など)がレジュメ作成、印刷、DriveにUpload、当日印刷を配布、プロジェクターでレジュメ出しながら授業、各種アメリカ医師免許試験対策の動画(英語)聴講、実力テスト10分。希望者は勉強の成果を発揮するべく、11月UCSF内科学教授ティアニー先生のカンファにて英語で症例発表(参照：総合臨床教育センターFacebook)。病棟外来でStep2 CS形式の4年次ハンズオン実習。

参加：完全自由参加制。学内試験・バイト・研究・プライベートなどとの両立完全サポート(休んだ回のレジュメはオンデマンドで履修可)。

使用言語：日本語

参加資格・現在の成績：不問

受講料：無料

メンバーの在学時臨床留学先：ハワイ大学医学部関連病院、シンガポール国立大学医学部附属病院、カリフォルニア州立大学ロサンゼルス校ほか

【メンバーの声】

小田木緋里：低学年の頃から、USMLEの勉強をし

たいなと思っていましたが、中々1人では踏み出せずにいました。この勉強会をきっかけに、英語学習を続けて自分自身の可能性を広げていこうと思います。同級生中心に勉強するきっかけを作ってくださった6回生の先輩方に感謝しています。先輩方が作ってくださった環境をこれからもつないでいけたらなと思います。

税所 綾子：USMLEは私にとって掘り所のない、よく分からないものと感じなかなか手がつけられずにいました。しかし今回の授業はポイントを押さえた分かりやすいもので、非常に為になりました。英語で医学の問題を解くことで自らの医学知識を深め、英語でも理解できるようになることはこれから先も求められていくでしょう。その中で必要な力の身につけ方を今の段階で練習でき、有意義な時間を過ごせたことは今後にお

いての糧になると感じております。賢い先輩方のお話を聞くこともできましたので、これから先の目標や参考にさせていただきたいと思います。

毎回の授業の為に解説を考えプリントし、時間をとって説明してくださった先生方、先輩方には感謝の念で一杯です。ありがとうございました。
谷村 昌哉：4年生の時からこの勉強会に参加して、いい刺激と勉強になりました。勉強会の主宰お疲れさまでした。

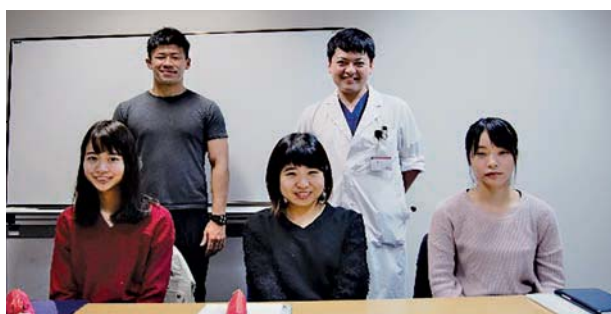
藤澤 聡：Step2 CS受験まで総合内科の初診外来頑張ります。来年度はStep2 CK/CS担当です。

USMLE勉強会アルバム（各曜日で撮影していますが、全員揃った写真はありません）

3-4年生メインの火曜・金曜クラス（範囲：臨床医学 Step1-2CK 対策）



米国 UCSF 内科教授 Dr. Tierney を神戸大学病院に招聘したケースカンファ2018/11/6-8で当勉強会の原田大輝、藤澤聡が当院総合内科の指導のもと、英語で症例発表させていただきました。



2年生メインの月曜クラス（範囲：基礎医学 Step1重点対策）

第14回神戸大学ホームカミングデイ

2019年10月26日（土）開催の本部式典での講演者に東京都監察医務院、福永龍繁院長（昭和56年卒）が内定した。午前10時からの記念式典でのご講演であり、神緑会からは初めての担当で、六甲台出光講堂で行われます。

医学研究科長選考広報

平成30年12月27日
医学研究科長 的崎 尚

医学研究科長の選考について

平成30年11月21日開催の医学研究科教授会において、神戸大学大学院医学研究科長候補者選考内規に基づき、医学研究科長候補者として下記の者を選考の上、学長に推薦した。

引き続き、平成30年12月25日開催の神戸大学役員会において、神戸大学部局長選考規則に基づき、医学研究科長候補者を医学研究科長として選考した。

記

氏名 藤津正人 (ふじさわ まさと)
現職 神戸大学大学院医学研究科外科系講座
教授 (教育研究分野: 腎泌尿器科学)
任期 平成31年4月1日～平成34年3月31日

医学部長選考広報

平成31年2月1日
医学部長 的崎 尚

医学部長の選考について

平成31年1月16日開催の医学部教授会において、神戸大学医学部長候補者選考内規に基づき、医学部長候補者として下記の者を選考の上、学長に推薦した。

引き続き、平成31年1月22日開催の神戸大学役員会において、神戸大学部局長選考規則に基づき、医学部長候補者を医学部長として選考した。

記

氏名 藤津正人 (ふじさわ まさと)
現職 神戸大学大学院医学研究科外科系講座
(教育研究分野: 腎泌尿器科学)
任期 平成31年4月1日～平成34年3月31日

PORTOPIA HOTEL



Hospitality & MICE

国際都市・神戸のリーディングホテルとして
これからも信頼のサービス
お届けしてまいります。

- ポートピアホール1,702席 スクール形式610席
(6ヵ国語同時通訳設備 コンサートホール対応)
- 宴会場36室 屋外・屋内チャペル、神式場
- 客室744室
- 高速LAN全館完備
- ゲストサービスサロン
- エグゼクティブフロア「オーバルクラブ」
- レストラン&バー など13店
- 室内・屋外プール テニスコート ジム サウナ
- エステティックサロン ショッピングアーケード
- 駐車場450台収容
- 「三宮」「新神戸」とホテルを結ぶ
シャトルバス(無料)20分に1本運行中

ご予約・お問い合わせは...

Tel.078-302-1111 (代表)

神戸コンベンションコンソーシアム / 構成団体

ポートピアホテル

〒650-0046 神戸市中央区港島中町6丁目10番地1

ホームページ <https://www.portopia.co.jp>

役員選挙実施について

平成31年1月19日（土）開催の平成30年度臨時社員総会において選挙管理委員会の設置が承認され、下記スケジュールで標記役員選挙が実施されます。

平成31年より選挙人への通知等については「神緑会ホームページ」にて公開致します。郵送は致しませんので、**郵送希望、不明な点につきましては下記神緑会事務局まで電話・FAX・メールでご連絡下さい。**（期日：4月30日（火））

役員選挙告示	2019年3月31日（日）までに掲載
立候補届 受付	2019年5月1日（水）～2019年5月20日（月）
立候補辞退受付	2019年5月21日（火）～5月27日（月）
候補者一覧告示	選挙（定時総会内）開催2週間前までに掲載
投 票	2019年6月29日（土） 一般社団法人神緑会定時総会 15:00

※上記スケジュールに従い必要な資料等は、

神緑会ホームページ、会員コーナー、役員選挙ページにて掲載されます。

（URL：<https://www.shinryokukai.com>）

（注）ログインが必要となりますので、ID・PWが不明な方は下記事務局まで御連絡ください。

※立候補届受付期間のみ役員選挙ページにて【立候補届の申請】が可能です。

※選挙人名簿の閲覧期間：

2019年3月25日（月）～2019年6月28日（金）

（神緑会事務局内 10:00～16:00（土・日・祝 除く））

2019年3月9日

選挙管理委員会

委員長 宮崎 都志幸（S51年卒）

委員 松本 正道（S49年卒）

同 湯川 雅彦（S61年卒）

同 辻 剛（H10年卒）

同 後藤 章暢（産業医科大学卒）

一般社団法人神緑会 事務局

〒650-0017

神戸市中央区楠町7丁目5番1号

（神戸大学医学部内）

Tel 078-361-0616 Fax 078-361-0617

E-mail：sinryoku@med.kobe-u.ac.jp

神緑会 HP：<https://www.shinryokukai.com>

附属病院外来診療棟展示スペースの利用の応募について

神緑会がホームカミングデイ当日を中心に、藤谷先生（37年卒）の指導で美術展示を過去2年間行ってきた。そのためのスペースを確保するため、ピックアップラールを設置した。約30のハンガーがあるので通常の展示には十分な長さです。美術展示以外でも学生写真展等も呼びかけますが、神緑会員の公募を期待します。 神緑会事務局

編集後記

毎年2回の総会の報告で、教授や栄誉者の紹介に、これまでの簡単なメモから踏み込んで、テープ起こしからのご挨拶を掲載した。もう一点は、2年毎の役員選挙の実施です。6月29日総会での理事、監事の選出までご注目ください。

学生の活動について、総会講演、白衣授与式、大倉山祭とシンポジウム報告、USMLE 勉強会と多彩な報告となった。なかでも、ロゴマークの医学部版の使用は、100周年記念ロゴしか使用できない規程が変更され、サイズも大きくしたので、学生から「よりいっそう気が引き締まる」との感想をいただいた。なお、使用には届け出が必要です。

記念事業寄付の呼びかけと厳しい現状を報告した。9月記念式典まで記念史の整理が進んでおり、成功を期待します。

編集委員会

神緑会ニューズレター 第10巻第4号

発行 一般社団法人神緑会
会長 前田 盛
〒650-0017 神戸市中央区楠町7丁目5-1
神戸大学医学部内
TEL (078) 361-0616 FAX (078) 361-0617
sinryoku@med.kobe-u.ac.jp
印刷 交友印刷株式会社
〒650-0047 神戸市中央区港島南町5丁目4-5
TEL (078) 303-0088 FAX (078) 303-1320
info@koyu-p.co.jp

34階には神戸市街、大阪湾を一望するダイニング、
35階にはスカイラウンジ

34階レストランから望む、神戸港、三宮、
北野～新神戸界隈の街並み、六甲山（南西～北西方向）

今は自由にアクティブに暮らしたいけれど、将来の介護は不安という方へ

介護付有料老人ホーム
（一般型特定施設入居者生活介護）

入居時自立

サンシティタワー神戸

所在地：〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通2-3-5



34階レストラン



夕食の一例

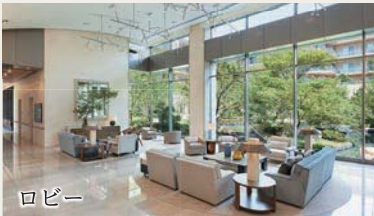


外観/平成29年4月撮影
土地・建物/事業主体非所有(賃借)



1階中庭

タワーでありながら緑豊かな中庭は1600㎡の癒しの空間。
リゾートホテルのような快適さで、豊かに暮らせる安心の住まい。



ロビー



温水プール

安心の医療支援体制と介護体制

将来介護が必要になっても、要介護者3人に対してケアスタッフ(看護師含む)2人以上という手厚い介護人員体制



岩永メディカルクリニック
※同一建物内診療所(別法人)



斜向かいに神戸赤十字病院
※近隣の医療機関

予約不要のレストラン、大浴場、温水プール、フィットネスルームなど共用部が充実。

要予約

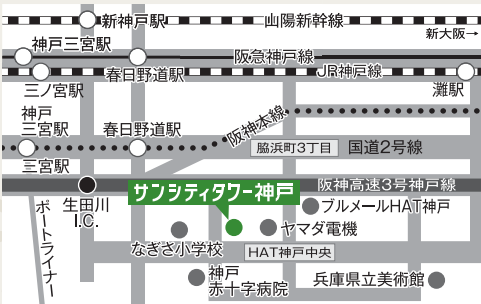
個別見学会開催

資料請求・見学のお申込みはこちらまで

受付時間/午前9:00～午後5:00(土日祝日も受付可)

0120-33-1655

無料シャトルバス
三宮・元町へ
毎日8便運行



【施設概要】●所在地/神戸市中央区脇浜海岸通2丁目3番5号●敷地面積/12,431㎡●建築面積/5,861㎡●延床面積/57,391.40㎡●構造規模/RC造(一部S造)、地上35階●一般居室数/483室(37.30㎡～112.76㎡)、介護居室数/95室95床(一時介護室4室4床含む)[20.8㎡～25.61㎡]●主な共用設備/レストラン、温水プール、男女大浴場、美容室その他●土地・建物の権利形態/事業主体非所有●建物竣工/平成29年4月●開設年月/平成29年6月●事業主体・運営管理/㈱ハーフ・センチュリー・モア●返還金制度/あり【協力医療機関】■住友病院(大阪市北区中之島5-3-20、施設から約33km)●主な診療科目/一般内科、リハビリテーション科、心臓血管外科、神経内科、放射線科ほか●協力内容/生活習慣病予防健診に利用できます【同一建物内クリニック】■岩永メディカルクリニック(別法人)●主な診療科目/内科、外科、消化器内科、糖尿病内科、リハビリテーション科【神戸市有料老人ホーム設置運営指導指針による表示事項】●類型/介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護)●居住の権利形態/利用方式●利用料の支払い方式/全額前払い方式●入居時の要件/入居時自立、満70歳以上の方●介護保険/神戸市(兵庫県)指定介護保険特定施設、神戸市(兵庫県)指定介護予防特定施設●介護居室区分/全個室●介護にかかわる職員体制/1.5:1以上●入居申込書の記載事項に虚偽があったり、月額利用料の支払いを正当な理由なくしぼり遅滞した場合、他の入居者や従業員に危害を及ぼす等の行為がある場合、その他入居契約書に定めた条項に違反された場合は、相当の催告期間の後に契約を解除させていただきます。●お客様の個人情報は、資料の発送や見学会のご案内のほか、各種の統計調査に利用する場合があります。

(株)ハーフ・センチュリー・モアは大手企業約100社が出資する資本金120億円で、借入金のない会社です。

【主な出資企業】三井住友銀行・みずほ銀行・三菱UFJ銀行・西日本旅客鉄道・三洋電機(パナソニック)・塩野義製薬・ダイキン工業・ヤンマー・江崎グリコ ほか

木と生きる幸福

住友林業グループ



Premium Moment

すべての刻に、豊かさを。

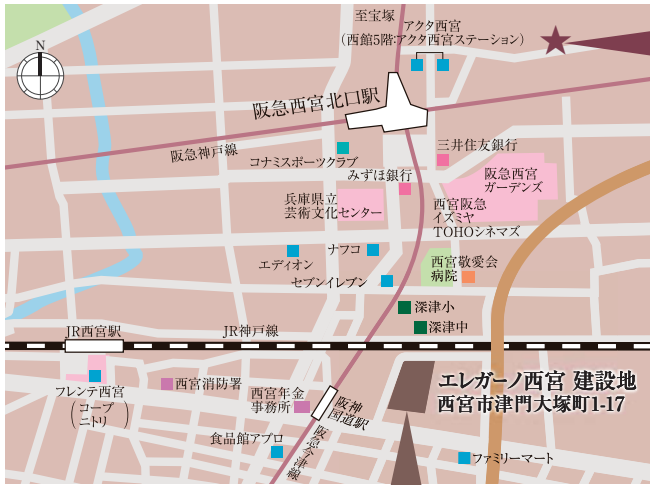


(完成予想図)
建物 自社所有
土地 普通借地 (アーク不動産株式会社・平成29年契約)

住友林業のシニアレジデンス

エレガーノ西宮

2020年春 開設予定



見学受付中
シニアレジデンスギャラリー
完全予約制

定例 ギャラリー見学会

3/7(木) 3/21(木) 3/26(火) 各日 13:30~

要予約

～個別見学会も随時受付中～

エレガーノ西宮シニアレジデンスギャラリー 〒663-8032 西宮市高木西町4番22号
にしのみや

0800-100-2438
(10時～17時・毎土曜定休日)

居室要望承り中 3/6(水)まで

入居要望が重なった場合、3/17(日)抽選会

- 一般居室全戸南向き(219戸)
- 同一建物内クリニック(別法人)開設予定
- 専門講師による文化系・スポーツ系プログラム
- 全戸Wi-Fi環境を整備(309戸)
- 支援が必要になった場合に備え、介護居室を併設(90戸)

【施設概要】●所在地/西宮市津門大塚町1-17 ●交通/阪急神戸線「西宮北口」駅より徒歩16分(約1,280m)、JR神戸線「西宮」駅より徒歩11分(約880m)、阪急今津線「阪神国道」駅より徒歩4分(約320m) ●構造概要/鉄筋コンクリート造地上14階建2棟、5階建1棟 ●居室数/総居室309戸(一般居室219戸、介護居室90戸) 【西宮市サービス付き高齢者向け住宅運営指導指針による表示】 ●類型/サービス付き高齢者向け住宅 ●居住の権利形態/利用権方式 ●利用料の支払い方式/一部前払い一部月払い方式 ●入居時の要件/入居時自立・要支援・要介護 ●介護保険/在宅サービス利用 ●生活支援サービスを提供する人数/看護師8名、介護支援専門員1名、介護福祉士15名、上記以外の職員14名合計38名(予定) ●常駐する時間/9時～17時30分14名、17時30分～9時4名(予定) 【住み替えについて】24時間の支援が必要になった場合、介護居室にお住替えいただけます。●居住面積の減少あり●利用に関する権利の変更なし●追加費用なし●費用に関して面積の減少に応じた調整が行われる場合もあります。【協力医療機関】明和病院●所在地/西宮市上場尾町4-31 ●診療科目/総合診療科・消化器内科・循環器内科・循環器内科・呼吸器内科・血液内科・糖尿病・内分泌科・消化器外科・乳腺科/内分泌外科・呼吸器外科・整形外科・リハビリテーション科・産婦人科・小児科・眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科/にきびセンター・形成外科・泌尿器科・歯科・腫瘍科・腎臓科

経営・運営主体 **スミリンケアライフ株式会社** (住友林業株66.7%出資)

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通1丁目5番1号(国際健康開発センター3階) TEL.078-261-6665

(公社)全国有料老人ホーム協会会員 (一社)全国介護付きホーム協会会員 www.s-carelife.co.jp FAX.078-261-6662

メルマガ会員募集中!

詳しくは **エレガーノ西宮** 検索

